

## 第8章 卒業後の進路

### 1. 卒業後の進路についての検討の有無

#### (1) 卒業後の進路についての検討の有無の経年変化

卒業後の進路について、「具体的に考えている」という人は63.9%である。

卒業後の進路について、「具体的に考えている」という人の比率を経年変化で見ると、平成6年度(66.7%)、平成9年度(64.3%)、平成12年度(66.0%)、平成15年度(63.9%)となっており、最近になって少し減少する傾向がみられる。学年別にみると4年生、6年生で多く、男子・女子の差はほとんどない。

図8-1 卒業後の進路についての検討の有無の経年変化

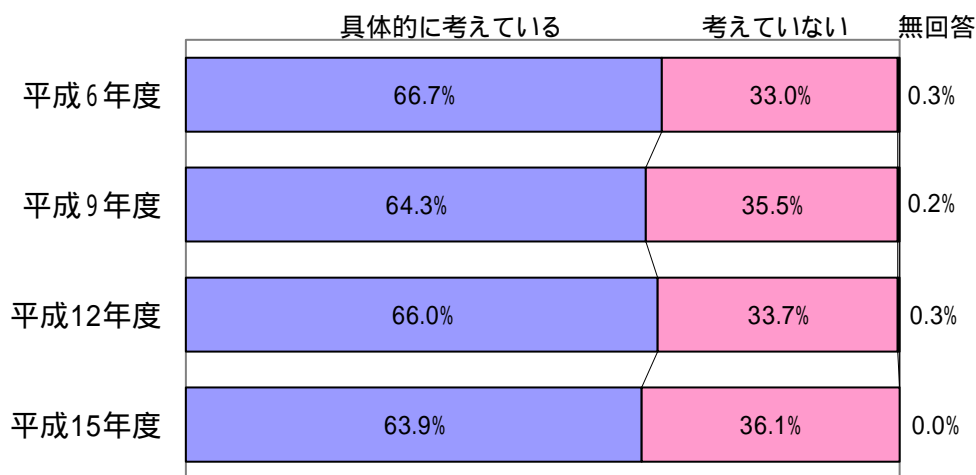
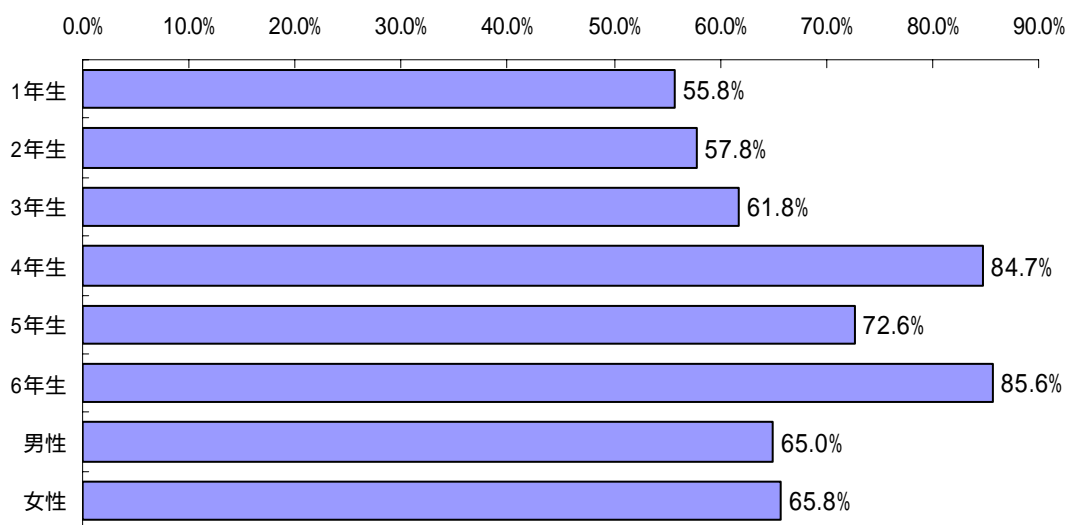


図8-2 学年別、性別進路についての検討の有無



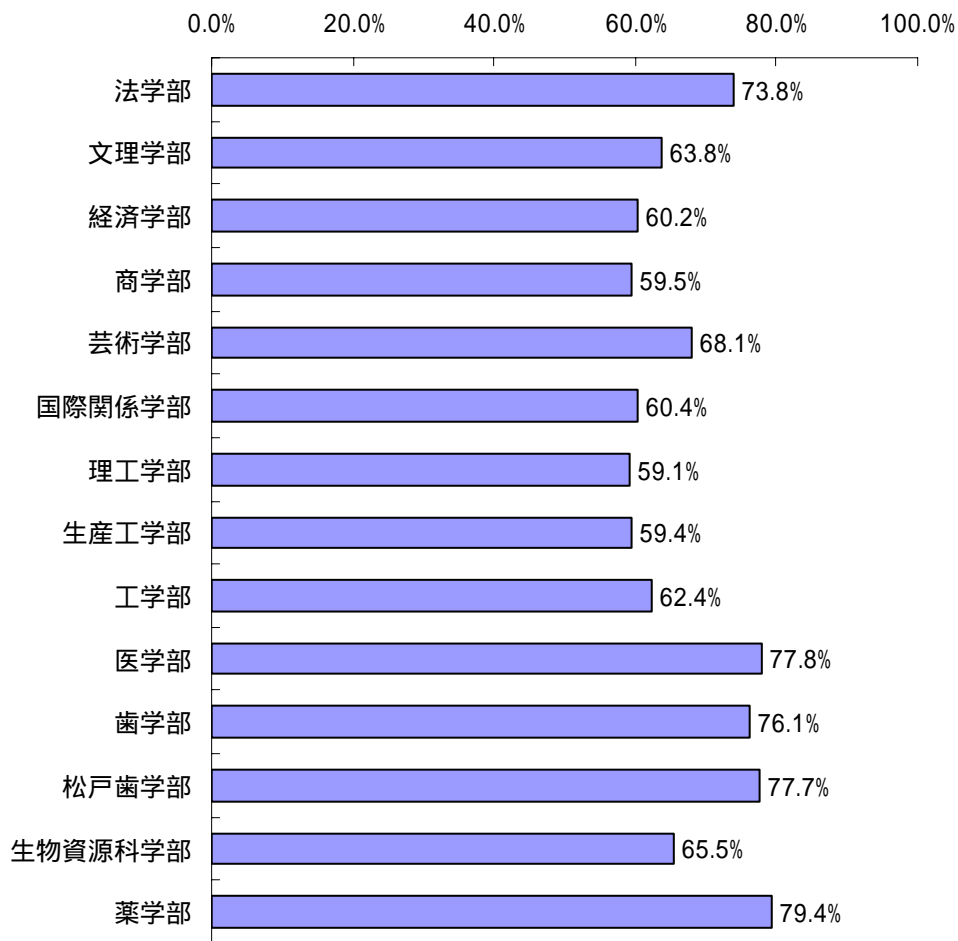
(2) 学部別卒業後の進路を検討している比率

卒業後の進路を具体的に考えている人の比率が高いのは、医歯薬系の学部である。

卒業後の進路を具体的に考えている人の比率が高いのは、医学部(77.8%)、歯学部(76.1%)、松戸歯学部(77.7%)、薬学部(79.4%)で医歯薬系の学部集中している。

反対に、商学部(59.5%)、生産工学部(59.4%)、理工学部(59.1%)は具体的に考えている人の比率が低く、60%未満となっている。

図8-3 学部別卒業後の進路を具体的に考えている率の経年変化

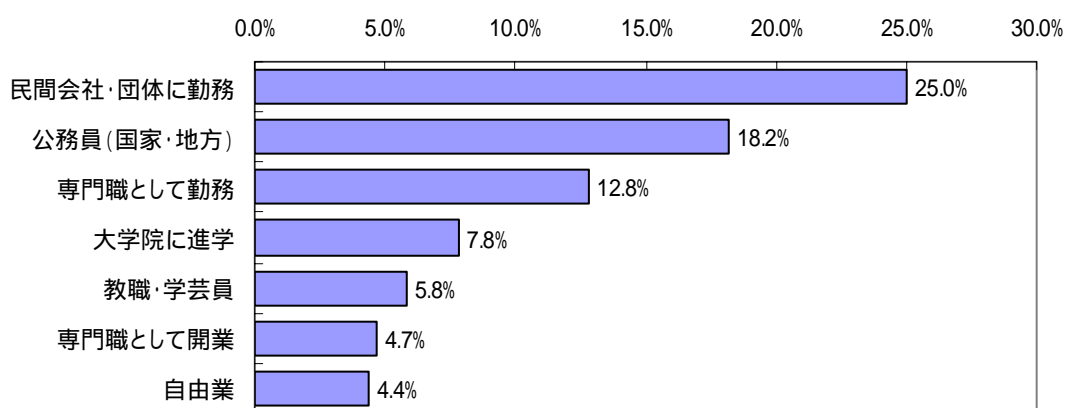


## 2. 希望している進路（具体的に検討しているもの）

卒業後の進路は、日本大学全体では「民間会社・団体に勤務」が25.0%で最も多い。

卒業後の進路について、第1希望をみると、全体では「民間会社・団体に勤務」(25.0%)が最も多く、次いで「公務員」(18.2%)、「専門職として勤務」(12.8%)と続いている。

図8-4 希望している進路の経年変化  
- 出現率が3%以上のもの -



学生の希望を学部別に整理すると、以下の表に示すとおりとなる。

特徴をみると、法学部 - 公務員、芸術学部 - 自由業、医・歯・薬学部 - 専門職、文理・経済・商・理工・生産工学部 - 民間会社の関係が最も強い。

表 8 - 1 学部と希望する職業 ( 1 位、2 位、3 位 )

学 部	第 1 位	第 2 位	第 3 位
法学部	公務員 (35.9%)	民間会社・団体(21.7%)	専門職 (13.4%)
文理学部	民間会社・団体(24.4%)	教職・学芸員 (21.1%)	公務員 (17.3%)
経済学部	民間会社・団体(36.5%)	公務員 (19.6%)	専門職 (12.8%)
商学部	民間会社・団体(34.0%)	公務員 (16.0%)	専門職 ( 9.5%)
芸術学部	自由業 (36.9%)	民間会社・団体(22.2%)	専門職 ( 7.4%)
国際関係学部	民間会社・団体(27.4%)	公務員 (17.5%)	国際団体 ( 7.6%) 海外留学 ( 7.6%)
理工学部	民間会社・団体(25.2%)	大学院進学 (19.1%)	公務員 (18.0%)
生産工学部	民間会社・団体(30.7%)	公務員 (16.0%)	専門職 (13.8%)
工学部	公務員 (24.7%)	民間会社・団体(22.6%)	専門職 (16.7%)
医学部	専門職 (59.3%)	専門職開業 (23.6%)	海外留学 ( 2.4%)
歯学部	専門職 (44.4%)	専門職開業 (26.0%)	大学院進学 ( 7.7%)
松戸歯学部	専門職 (44.7%)	専門職開業 (34.5%)	大学院進学 ( 2.9%) 自営業 ( 2.9%)
生物資源科学部	民間会社・団体(23.1%)	公務員 (17.1%)	専門職 (12.1%)
薬学部	専門職 (57.1%)	大学院進学 (11.8%)	専門職開業 (10.0%)

### 3. 将来についての不安

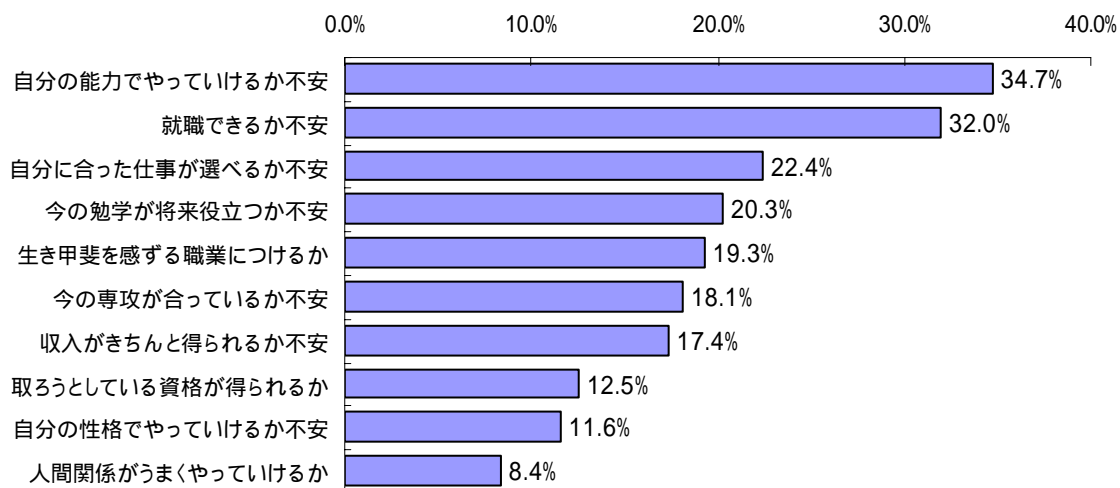
#### (1) 全体

将来についての不安は、「自分の能力でやっていけるのか」と「就職できるか」である。

将来についての不安をみると、「自分の能力でやっていけるのか」(34.2%)と「就職できるか」(32.0%)が上位2項目である。次いで、「自分に合った仕事を選べるか」(22.4%)、「今の勉学が将来役立つか」(20.3%)、「生き甲斐を感じる職業につけるか」(19.3%)と続いている。

「就職できるか」という項目は、平成12年度より新たに追加された選択肢であるが、日本経済の不況下を反映してか、不安内容の第2番目にあげられている。

図8-5 将来についての不安(3つ以内の複数回答)  
- 出現率10%以上のもの -



(2) 学部別将来についての不安

「自分の能力でやっていけるか」と「就職できるか」がほとんどの学部で、不安内容の上位2項目にあげられている。

上位2項目が不安内容の第1番目と第2番目にあげられているが、医歯薬系の学部は、他の学部と少し異なり、「収入がきちんと得られるのか」あるいは「取ろうとしている資格が得られるか」という不安が上位にあらわれてくる。

表8 - 2 学部別将来についての不安(上位3項目)

学 部	第 1 位	第 2 位	第 3 位
全 体	自分の能力でやっていけるか不安 〔34.7%〕	就職できるか不安 〔32.0%〕	自分に合った仕事を選べるか不安 〔22.4%〕
法学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔38.4%〕	就職できるか不安 〔34.9%〕	自分に合った仕事を選べるか不安 〔22.4%〕
文理学部	就職できるか不安 〔38.4%〕	自分の能力でやっていけるか不安 〔32.4%〕	今の勉強が将来役立つか不安 〔20.8%〕
経済学部	就職できるか不安 〔39.0%〕	自分の能力でやっていけるか不安 〔26.8%〕	自分に合った仕事を選べるか不安 〔25.6%〕
商学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔31.0%〕	就職できるか不安 〔30.1%〕	自分に合った仕事を選べるか不安 〔29.8%〕
芸術学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔38.6%〕	就職できるか不安 〔33.9%〕	収入がきちんと得られるか不安 〔33.9%〕
国際関係学部	就職できるか不安 〔40.3%〕	自分の能力でやっていけるか不安 〔32.4%〕	自分に合った仕事を選べるか不安 〔31.2%〕
理工学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔37.0%〕	就職できるか不安 〔26.6%〕	今の専攻が合っているか不安 〔25.5%〕
生産工学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔33.7%〕	就職できるか不安 〔27.6%〕	今の専攻が合っているか不安 〔26.0%〕
工学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔40.6%〕	就職できるか不安 〔34.2%〕	自分に合った仕事を選べるか不安 〔23.8%〕
医学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔35.4%〕	自分の健康・体力についていけるか 〔16.5%〕	取ろうとしている資格が得られるか 〔15.8%〕
歯学部	収入がきちんと得られるか不安 〔36.9%〕	自分の能力でやっていけるか不安 〔36.0%〕	今の専攻が合っているか不安 〔21.2%〕
松戸歯学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔36.2%〕	収入がきちんと得られるか不安 〔26.8%〕	取ろうとしている資格が得られるか 〔23.4%〕
生物資源科学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔33.7%〕	就職できるか不安 〔31.4%〕	自分に合った仕事を選べるか不安 〔24.8%〕
薬学部	自分の能力でやっていけるか不安 〔52.8%〕	取ろうとしている資格が得られるか 〔47.7%〕	自分の性格でやっていけるか 〔14.0%〕

## 4. 進路に関する情報・知識についての希望

### (1) 全体

「自分の本当の職業適性」に関する情報が最も求められている。

進路に関する情報・知識についての希望のうち最も強い項目は、「自分の本当の職業適性」で41.1%を占めている。次いで、「各職業に要求される能力・適性」(19.7%)、「社会人としての常識」(19.4%)、「就職活動のやり方」(17.9%)、「社会に通用するコンピュータの知識」(15.6%)、が上位にあげられている。

質問の選択肢の中には、「この学部の卒業生の就職先企業名」、「この学部の卒業生の仕事の種類および地位」、「日本大学出身の重役・社長企業名」など具体的な内容が含まれているが、学生が求めるものは、「社会に通用する……」あるいは「社会人として……」といった社会や組織に適応していくための現実的な知識・技術に関する情報や能力であるように思われる。

図8-6 進路に関する情報・知識についての希望(3つ以内の複数回答)  
- 出現率10%以上のもの -

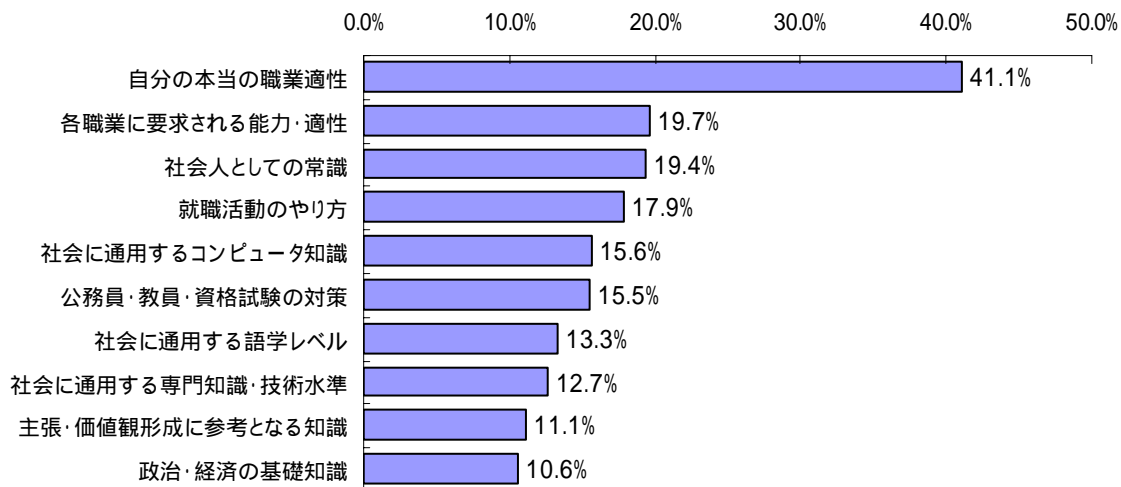


表 8 - 3 進路に関する情報・知識についての希望（3つ以内）

	平成 6 年度	平成 9 年度	平成12年度	平成15年度
自分の本当の職業適性	39.4	41.8	39.2	41.1
各職業に要求される能力・適性	20.2	17.2	19.9	19.7
社会人としての常識	19.0	18.6	17.9	19.4
就職活動のやり方	18.1	14.8	16.3	17.9
社会に通用するコンピュータ知識	-	22.5	23.7	15.6
公務員・教員・資格試験の対策	17.1	13.5	14.2	15.5
社会に通用する語学レベル	-	14.3	15.3	13.3
社会に通用する専門知識・技術水準	-	17.0	15.0	12.7
主張・価値形成に参考となる知識	14.3	13.4	13.2	11.2
政治・経済の基礎知識	11.0	10.6	9.3	10.6



(2) 学部別進路に関する情報・知識の希望

薬学部を除く、いずれの学部も「自分の本当の職業適性」に対するニーズが最も高い。

学部別に進路に関する情報・知識の希望を示したものが表8-4である。

薬学部を除くと、いずれの学部もトップは「自分の本当の職業適性」となっている。その他特徴的なことを整理する（全体平均に比べて約5%以上高いもの）と以下ようになる。

- 自分の本当の職業適性 ..... 生産工学部 (48.3%)
- 社会に通用するコンピュータ知識 ..... 経済学部 (21.1%)
- 各職業に要求される能力・適性 ..... 芸術学部 (21.1%)
- 社会人としての常識 ..... 医学部 (26.6%)
- 社会に通用する語学レベル ..... 国際関係学部(19.1%)、医学部(18.4%)
- 公務員・教員・資格試験の対策 ..... 法学部 (27.0%)
- 自分の主張・価値観形成に参考となる知識 ..... 芸術学部 (16.1%)、文理学部 (13.3%)
- 政治・経済の基礎知識 ..... 経済学部 (16.7%)

表8-4 学部別進路に関する情報・知識の希望

(単位：%)

学部	項目	自分の本当の職業適性	各力職・業適性に要求される	社会人としての常識	就職活動のやり方	社会に通用する知識	公務員・教員・資格試験の対策	社会に通用する語学レベル	専門会知に用技術水準	参考と・な価値観形成に	政治・経済の基礎知識
全体		41.1	19.7	19.4	17.9	15.6	15.5	13.3	12.7	11.2	10.6
法学部		36.1	21.9	20.6	18.3	19.6	27.0	16.8	6.9	12.5	11.5
文理学部		40.8	21.5	20.0	21.7	13.9	19.1	12.4	7.0	13.3	10.9
経済学部		43.1	18.7	19.1	21.5	21.1	19.5	13.8	8.9	6.5	16.7
商学部		41.4	19.0	19.9	18.8	16.1	15.2	14.3	9.8	12.8	14.3
芸術学部		37.9	20.5	16.4	15.1	12.1	5.4	10.7	14.8	16.1	7.0
国際関係学部		41.5	21.0	19.8	21.0	10.6	12.8	19.1	8.5	12.3	12.1
理工学部		45.4	19.2	19.1	16.2	15.2	12.5	11.3	17.6	11.7	9.7
生産工学部		48.3	17.7	16.2	16.3	18.9	10.0	11.4	15.1	7.8	8.7
工学部		43.3	21.8	21.1	12.1	14.8	15.4	8.1	23.5	8.4	7.0
医学部		23.4	12.0	26.6	4.4	9.5	5.7	18.4	12.0	10.8	9.5
歯学部		28.4	12.2	21.2	7.2	8.1	7.2	11.7	7.7	13.5	9.9
松戸歯学部		31.3	11.7	19.6	8.3	5.3	9.4	8.3	16.2	10.9	9.1
生物資源科学部		39.0	19.7	20.0	19.5	13.9	14.4	16.2	16.2	11.4	7.8
薬学部		19.2	15.9	22.4	21.5	15.0	18.7	13.6	15.4	9.3	9.3